

第9回 観音寺市民会館管理運営検討委員会議事録【要約】	日時 平成26年1月28日(火)19:00~21:00
	場所 働く女性の家1階 相談室
出席者	委員8名(欠席3名)、事務局5名、事務局補2名
議題	(1)第8回観音寺市民会館管理運営検討委員会 会議録について (2)検討委員会意見取りまとめ (3)その他
<p>1. 開会 開会のあいさつ。</p> <p>2. 委員長あいさつ 委員長あいさつ。</p> <p>3. 議題</p> <p>(1)第8回観音寺市民会館管理運営検討委員会会議録について 資料を元に会議録について説明。修正内容を確認の後、内容を承認。</p> <p>(2)検討委員会意見取りまとめ 資料を元に自主事業に関する意見のまとめについて説明。</p> <p>【委員質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業に関する意見は管理運営方法を検討する前に出たものだ。先日の委員会で指定管理者制度の導入を強く希望するという意見が出たということ踏まえ、改めて前回までに出された意見を整理してはどうか。 <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てを指定管理者に丸投げするのではなく市や市民も共に運営に参加していくことが大切だという意見も出た。もし、指定管理者制度が導入された場合、実施して欲しい自主事業の内容を指定管理者にどのように伝えていくのか。 <p>【事務局回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者を公募する際の業務の基準に記載する。また、公募資料と共にこの検討委員会でとりまとめた管理運営計画書も添付することになる。 <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば「年1回子供向けのワークショップを実施した。これで育成事業を実施したことになる。」と言われてしまう可能性が懸念される。経営を成り立たせなければならないという事情も理解できるが、将来を担う人材のために種をまく事業も施設を整備する目的のひとつだ。その折り合いをどのようにつけていくかが難しい問題になるように思う。指定管理者に求める業務にどこまで記載するかがカギになるのではないかと。 <p>【事務局意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定の評価軸をどこにおくかによって変わるかと思う。自主事業の提案内容は応募者によって差が出る。鑑賞事業でも利益を生むための事業だけでなく将来のための投資的な事業も考えられるだろう。例えば、応募者の意識を知るポイントのひとつとして、事業収支をどのように考えているかに注目するという方法がある。 <p>【事務局意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的には、提案内容のバランスを見て管理運営計画に沿った事業を展開しているかという視点で評価していくことも必要だと考えている。 <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者にノルマをかせるだけでなく、アーティストをはじめ市民とも良好な関係を築けることが重要だ。 <p>【事務局意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的な運営を実施していくためにも、市、市民、管理運営者が三位一体になって市民会館の管理運営を行わなければならない。そのためにも各々の役割を明確にし周知していくことが必要になる。 	

資料を元にプレ事業・開館記念式典・開館記念事業に関する意見のまとめについて説明。

【委員意見】

- ・開館記念式典や開館記念事業に有名なアーティストを招くとなると数年前から、早ければ今年度から交渉を始めなければならない。

【事務局意見】

- ・入札を含め施設整備スケジュールが明確になれば、開館までのスケジュールも明確になり開館記念式典や開館記念事業について計画を進めることができると考えているが、招聘するアーティストによっては開館月でのスケジュール調整が難しい場合もあるだろう。記念式典は開館月に行うことになるだろうが、開館記念事業は開館月だけでなく長期間で行うことも可能である。

【委員意見】

- ・もし開館記念事業実行委員会のような組織を結成するならばその時期も検討したい。

【委員意見】

- ・例えば、NHK 交響楽団は周年記念事業などがある場合来てくれることが多い。まだ工事は始まってはいないが、今からでも新しい施設が開館するというということの方々に積極的にアピールしていくことも必要ではないか。

【事務局意見】

- ・そのことに関しては市としても周知する努力をしていく。

【委員質問】

- ・地元出身やゆかりのあるアーティストの把握はできているのだろうか。

【事務局回答】

- ・市に関連する著名な方はピックアップしているが、全てを網羅できているかはまだわからない。今後も情報収集に努めたい。

資料を元に広報活動に関する意見のまとめについて説明。

【委員意見】

- ・吉本興業主催で 47 都道府県から地元の食をアピールする CM を募集した「JIMOT CM COMPETITION」というイベントに、Re:born. k(リボンドットケー)の作品が香川県代表としてノミネートされた。投票で選ばれた上位 5 作品が、3 月に行われる沖縄国際映画祭に進出し、グランプリを獲得すれば地上波で放映される。このようにインターネット上で生放送動画や録画動画を配信・共有できるサービスを活用することによって情報を発信するノウハウは既に持っているので協力することはできると考えているが、こういったことを市、管理運営者、実行委員会のような組織など、どこが中心となるのかも明確にしなければならないだろう。

【事務局質問】

- ・今後、市民会館の広報活動に協力していただけるのだろうか。

【委員意見】

- ・将来的には協力していけると考えている。ただ、これまで市民開館を自主的に利用していなかったという経緯はある。地元の感覚として、こつこつ積み上げていくのではなく派手なものにくっついていくほうがいいのではと思っている。人脈を持つコーディネーターに委嘱したほうがいいとも考えている。開館記念に名のある人を呼ぶならば早めに行動したい。

【委員質問】

- ・ネット動画を製作するにはどのくらいの費用が必要なのか。

【委員回答】

- ・綺麗な映像を撮影しようと思うと高くなるが、カメラとパソコンがあればそれほど費用はかからない。Re:born. k でも自前のパソコンを利用しているので 7~8 万で済んでいると思

う。

【委員質問】

- ・市のホームページにそれらの動画サイトへのリンクを掲載することは可能なのだろうか。

【事務局回答】

- ・市民会館のホームページへのリンクであれば可能と考える。

資料を元に施設提供に関する意見のまとめについて説明。

【委員質問】

- ・ホワイエやロビーを貸し出すことにより、ホールでの活動に影響が出ないだろうか。

【事務局回答】

- ・市としても検討課題として認識している。現段階では細かい所まで詰め切れていないので、今後支障が出ないように具体的に検証し条例や規則に反映させる。

資料を元に組織計画に関する意見のまとめについて説明。

【委員意見】

- ・指定管理者制度を導入した場合、指定管理者の業務内容を評価するとあるが、具体的にどのように評価していくのかについても今後協議する必要がある。

【委員意見】

- ・クレームを言うだけでなく、指定管理者が「この指定管理者になってよかったと」思えるようなバックアップ組織であるべきだと感じる。

(3) その他

【事務局説明】

- ・第10回検討委員会は2月20日(木)19時から働く女性の家1階相談室で開催を予定している。

4. 閉会

閉会のあいさつ。

以上